

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-745
研究課題名 膵神経内分泌癌における新たな分子生物学的分類を目指した研究
研究期間 西暦 2015年 2月（倫理委員会承認後）～2015年 3月
対象材料 ■病理材料（対象臓器名 膵内分泌細胞癌） ■生検材料（対象臓器名 膵内分泌細胞癌） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）
上記材料の採取期間 西暦 2010年 1月～ 2015年 1月
意義、目的 現行の WHO 2010 分類による pNEC の病理診断は、必ずしも最適な治療法の選択には結びついておらず、臨床現場に混乱をもたらしている。本研究によって pNEC を分子生物学的特性に基づく亜分類が可能となれば、プラチナベースの全身化学療法や分子標的治療薬などを適切に使い分けることが可能となり、pNEC の個別化治療へ直結することとなる。現在 JCOG では消化管・肝胆膵原発の進行 NEC 症例を対象とした第 3 相試験（CPT-11/CDDP vs, Etoposide/CDDP）が計画されており、本研究の結果の外的妥当性を検証する予定である。
方法 2010年 1月から 2015年 1月まで東北大学病院で手術もしくは EUS-FNA で組織学的に診断された膵内分泌細胞癌患者の病理組織検体を用いる。多施設から愛知がんセンターに送付された膵内分泌細胞癌の病理標本を用いて病理学的な検索を行う。具体的に <i>K-ras</i> 変異についてはホルマリン固定パラフィン包埋切片を用いて cycleave PCR 法で検討する。小細胞肺癌の診断マーカーとして汎用されている TP53、Rb 等の組織内発現を免疫組織化学染色にて検討する。ki-67 指数は愛知県がんセンター中央病院遺伝子病理診断部が有している ki-67 指数自動測定器(Aperio)を用いて再度計測を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学消化器内科 菅野 敦 022-717-7171